

Sports Net

ちば 2026年1月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2026年1月15日

「スポーツは平和とともに」
新日本スポーツ連盟千葉県連盟
〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 279号

2026年の年頭に当たり

園川県連盟理事長から会員の皆さんへ

更なる峰に向かって進もう！

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて新日本スポーツ連盟千葉県連盟を代表し会員の皆さんに2026年のメッセージをお届けします。

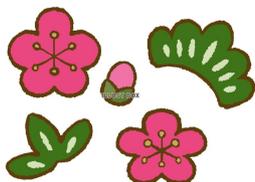
昨年（2025年）新日本スポーツ連盟は創立60周年を迎え、11月15日（土）愛知労働会館（愛知県名古屋市）において内外関係者が一堂に会し組織間交流と世代継承のための交流会「プロGRESS2025」（参加人数50名）及び創立60周年レセプション（参加人数90名）を開催しました。

因みに千葉県連盟は今年創立56周年を迎える年となります。

「プロGRESS2025」では新スポ連が抱えるいろいろな課題から「世代継承」「仲間づくり」「ジェンダー」等についてパネラーから語られ、フロア参加者からも現状報告を受け新スポ連の「今」と「未来」を大いに語り合い、その後ポッチャ体験会も行われ経験者も初心者も交え楽しく行われました。

夜には連盟60周年レセプションが開かれ、千葉県からも卓球協議会会員の方が参加され全国の仲間と交流を深めることが出来ました。

詳しくは全国連盟機関紙「スポーツのひろば」誌2026年1・2月号に概要が掲載されていますのでそちらをご覧ください。



私ども新スポ連は2年に一回のペースで「全国スポーツ祭典」を開催しています。1昨年（2024年）開催した「第35回大会・沖縄大会」はその後沖縄県連盟の立ち上げに繋がりました。

今年2026年は東海ブロックを中心に第36回大会が開催されます。引き続き2028年の第37回全国祭典は関東ブロックがその責務を負うこととなります。もともと関東ブロックが主体となり2020年開催予定の第32回大会を行う予定でしたがコロナ渦の為中止となりましたので2年後は千葉でも全国大会が行われる可能性があります。更なる会員拡大に向け全国大会への取り組みを強める必要があります。

「スポーツは平和とともに」世界中で戦火が絶えない中、今ほどこのスローガンがストンと胸に落ちる時はないと思います。

「新たな戦後」を作らせないようにスポーツに関わる私たちもこの声をもっともっと広げ多くの仲間を誘い新スポ連の輪を広げていこうではありませんか！

餅つきと里山歩き等を体験しました!?

~~2025関東ブロック年末交流大会~~

12月27日（土）千葉市若葉区の緑深い地区にある「木漏れ日の里（宍倉邸）」を会場に、東京・神奈川・千葉の各クラブから合計28名の参加で関東ブロック年末交流大会（千葉県ウォーキング協議会主管）として「餅つき」「ミニ門松作り」等のイベントを開催しました。

これまで千葉県主催イベントとして「鋸南町・水仙の里ウォーキング」「館山・戦争遺跡巡りウォーキング」等を実施してきましたが、今回は千葉の里山体験を通して自然に親しむ企画を考えてみました。



東京・神奈川からの参加者はJR千葉駅で案内人となる千葉県ウォーキング協議会メンバーと合流し、ウォーキングスタート地点となる白井公民館（千葉市若葉区）までは公共交通機関のバスで移動。その後は会場までメンバー所有の車に分乗して再移動。



この間、谷津田の田園風景や自然、妙興寺檀林跡を眺めながら会場に向かいました。

因みに会場一帯の地区は泉が豊富に湧き出ることから別名・泉地区とも呼ばれています。

開会行事の後は、いよいよ餅つき体験。お土産用も含め、計3臼の餅をつきました。

園川理事長、本田副理事長の息の合った掛け合いで勢いよく出来上がるほっかほっかの餅、参加者全員で協力しておいしい、おいしい「お餅」が出来上がりました。つきたてのお餅は「きな粉餅」「辛味餅」「お雑煮」「あんこ餅」など参加者それぞれの好みに合わせて味わいました。

餅をたらふく食べてお腹がくちくなった後はお正月飾りの「ミニ門松」作りを体験。材料となる「竹」の切り出しや「藁」の代用品となる使用段ボールは「千葉楽しく元気に歩く会」の皆さんが事前に準備していたので門松づくりが初めての参加者も立派なものが出来上がり思わず満足の表情！



息を合わせて餅つきをする
園川理事長・本田副理事長

このようにお正月の準備として「お餅」と「ミニ門松」が揃い、1年の締めくくりに相応しい行事となりました。来年も参加者の皆さんが健康で楽しくウォーキングを続けられることを願い家路につきました。

ウォーキング協議会事務局長 日野正生

新年早々熱気あふれる大会に スリーダブルス卓球大会 (YohaSアリーナ)

まだ松もとれない1月4日、YohaSアリーナ（千葉公園総合体育館）において、千葉県卓球協議会主催のスリーダブルス卓球大会が開催されました。

4人から5人までのメンバーで、3つのダブルスをたたかう試合には、73チーム、295人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。



会場には県連盟の園川理事長も挨拶に来場し、選手の皆さんに熱い応援メッセージを送りました。

9時半、男子7ブロック、女子6ブロックの選手の皆さんが25台の卓球台に分かれていよいよ試合開始です。

ブロックの分け方は概ね実力順を期していますが、ダブルスの場合は個人の実力がそのままダブルスの実力に反映するとは限りません。個人の實力では劣るのではないかと思われたペアが、勝利するということもあり、応援の声も一段と大きく響きます。

ダブルスの楽しさ・魅力を感じる一幕ではありました。

冬休み期間中ということもあり、大学生の姿もちらほら見かけたこの大会。

男子Aブロックは本命と目されていた「FCユニオン」が順当勝ち、A-2ブロックでは、「CCW+大網クラブ」が上位3チームの中から

僅差で勝ち上がり優勝。

女子Aブロックは、2勝1敗や1勝2敗など僅差の戦いを制した「千葉クラブ+フラミンゴ」が優勝し、B-1ブロックではオール2-0というパーフェクトで「あけび〜ズ+moana」が優勝しました。

卓球協議会の次回の大会は2月8日の冬季卓球大会（千葉ポートアリーナ）になります。観戦歓迎です。



【ちょこっとこぼれ話】

お読みになっている方はご存じのことと思いますが、新春と言えば歌舞伎の台詞でも有名な『こいつあ春から縁起がいいわえ』。

まだ松の内ということもあり、入賞チーム（上位2チーム）に賞品を渡すときに、『こいつは春から』と声がけしたところ、やっぱり年代差？『縁起がいいわえ（や）』と返ってくるチームは結構高齢チームで若い（そうな）チームからは疑問の顔しか返ってきませんでした。

自分の年齢を感じさせられた一幕でありました。

男子	優勝チーム	女子	優勝チーム
Aブロック	FCユニオン	Aブロック	千葉クラブ+フラミンゴ
A-2ブロック	CCW+大網クラブ	B-1ブロック	あけび〜ズ+moana
A,Bブロック	UWTC A	B-2ブロック	千城クラブ
Bブロック	AKB	B-3ブロック	AKB
B,Cブロック	FCC+へなちょこ	B,Cブロック	ステップアップ
C-1ブロック	チームOTAKI	Cブロック	もくれん
C-2ブロック	中央クラブ B		

常任理事会報告

12月18日（木）穴川コミュニティーセンターにおいて、53期第9回となる常任理事会を開催いたしました。

会長挨拶に続き、千葉県連盟創立に尽力いただいた秋本信孝元事務局長の冥福を祈念し黙禱を行いました。

【活動経過】

○11/22 スキー協議会学習会（道祖会館）18名

○11/25 ウォーキング例会（香取・佐原）

○11/27 船橋卓球協議会シングル大会

○12/5 スキー運営委員会

○12/7 検見川クロスカントリー大会

○12/14 空手協議会理事会

【協議関係】

1 対市、対県要望書について

毎年実施している市や県に対する要望について、要望内容を検討しました。

①県に対しては、施設については総合スポーツ

センターしかないため、

- ・野球場、軟式野球場、花見川下水道施設に付随した野球場について
- ・宿泊研修所、スポーツ科学センターについて
- ・武道館について

及び全体の課題として

- ・スポーツ関連予算について等を中心とした要望をすることで確認してきました。

②市に対しては、テニスコート・野球場・体育館・スポーツ関連予算の増額に加え、新に策定されるスポーツ振興計画について、内容を早めに示すように要望することとしました。

2 全国連盟に対しての現勢報告の内容について確認しました。

3 全国テニス選手権について

4 関東ブロックの取組として行われるウォーキング協議会の例会（餅つき）について対応を協議しました。

5 SportsNetちば12月号1月号の掲載記事について検討しました

6 年末年始の事務所閉所について、情報共有をはかりました。

2026

千葉県

スキー祭典

第61回千葉県スポーツ祭典

参加者募集

日程・参加費 '26年2月21日（土）9時 開会式 2月23日（月）13時 現地解散

プラン	内容	日程	参加費	備考
A プラン	スキーバス往復	2.5泊4日	54,000 円	1泊1食 20日夜 夕食無し
B プラン	現地集合・解散	2.5泊4日	48,000 円	1泊1食 20日夜 夕食無し

* 日程や交通手段などご相談ください（金曜午後のバスで出られないなど）

①バスで参加の場合 2026年2月20日（金）出発

出発場所 ①千葉市役所 13:00 出発

②JR津田沼駅 13:30 出発 詳しい場所は後日連絡

②車で参加の場合

ホテル山楽に直接お越しください。

③電車・バスで参加の場合

長野駅発志賀高原行きをご利用ください。

◆宿 志賀高原 ホテル山楽 TEL 0269-34-2217

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町 志賀高原 一の瀬ファミリー通り
荷物を送る場合は「2/20-23日千葉県スキー祭典」と明記する

◆スキー場 志賀高原スキー場各ゲレンデ（安全のため班行動を）

◆参加費に含まれるもの…宿泊代、スキー教室、スキー傷害保険代
バス利用の場合は往復のバス代

参加費に含まれないもの…リフト代、昼食、貸スキー

申込み・問合せ先

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17 黒川ビル2F

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

TEL 043-287-7353 FAX 043-256-1454

メール申込 njsf1970chiba@gmail.com

HP <http://njsf-chiba.perma.jp/>



申込みはFAX又・郵送又はメールで
FAX送信後に、着信確認の電話をしてください。

左記メールアドレス、又は QRコードからも申し込みます。QRコード→必要事項入力画面→必要事項を記入し送信

申込みいただいた方には、12月以降に詳細な案内をお送りします。参加費納入も忘れずをお願いします。1月中旬に振込

郵便口座 00190-0-351665

FAX : 043-256-1454

人物探訪 (No.19)

くろ す なお き

黒須 直樹 さん

県連盟監事

今回ご紹介する方は新スポ連県連盟の縁の下の力持ち的存在、長年「監事」をお引き受けいただいている「黒須 直樹さん」です。スマートな体形維持の秘密は学生時代から始めて今も継続中のあの優雅なスポーツ?にありました……



生まれは「かかあ天下」で有名な群馬県前橋市。

高校卒業後は外の世界に行きたくて千葉の理系大学に。

就職は先輩がいてかつ学

生生活に慣れ親しんでいたため千葉の教職の道に。その後私立高校に47年間勤め、70歳の現在も非常勤で現役。お話を伺っていると「先生!？」という雰囲気伝わってきました。

さて、新スポ連に関わるようになったきっかけは?との問いには「高校時代テニス部で活動していたのですが就職後たまたまテニスをやる方と知り合い、その方が所属しているグループでテニスをやり続け現在も続いていますので競技歴は40年くらい。メンバーに当時の新体連の幹部の方が居て事務局の仕事を手伝ったことが関わった始まりでした。」さて幹部の方とは何方のことでしょうか?縁は異なるもの味なものですね?!

新スポ連との関りが「テニス」にあったとのことですが、今でも続けている理由は「運動音

痴で、野球・サッカーは身体がついていけなかったのですが青空の下で身体を動かすことは好きだったので中学・高校とソフトテニス・硬式テニスと部活動に。そんな訳でテニスが気に入ったのです。」とのこと。

学生時代はさぞかし好成績を収められていたのではと思いきや「高校時代に試合には出ていましたが1回戦ボーイで戦績はなく健康と気分転換のためにやっています。1年中プレーが出来、ダブルスは年をとっても動きやすいことが継続できる理由かも。」とのお答え。

このようにテニス三昧に明け暮れている黒須さんですが、テニス以外にもスキー・スケート・ボート等も経験されていたとは!人は見かけで判断できませんね。。。

今年創立60周年を迎えた新スポ連ですがスポーツを通じて会員の皆さんに何を訴えたいですか?との問いには「スポーツは、体力維持、精神的リフレッシュ、人とのつながりができ、素晴らしいです。全ての人が、スポーツを楽しみ、魅力を知ってもらうようにできたらいいと思います。」

新スポ連が掲げる「いつでも、どこでも、誰もがスポーツを!」のスローガンに沿ったお言葉を頂きました。

テニス以外にも体力維持の為に現在スポーツジムに週1回程度通い1時間ぐらい、筋トレと自転車・ランニングに汗を流されている由。

マッチョな黒須さんがそのうち皆さんの目の前に現れる日が来るかもしれませんね。(笑)



(文責 園川)

SPORTS CALENDAR

1月

1月4日(日) テニス370チーム対抗男子 青葉の森
卓球3ダブルス団体戦 よはすアリーナ
1月17日(土) テニス新春大会チーム対抗 天台A・B
スキー協雪上研修会 舞子リゾート
1月24日(土) テニス会長杯 男子D 女子S 天台A
1月27日(火) ウォーキング例会 (成田山界隈)

1月14日(水) 4役会議
1月15日(木) 常任理事会

2月

2月8日(日) 卓球冬季大会 (ポートアリーナ)
2月14日(土) テニス春季大会混合D 天台A・B
2月20日(金)~23日(月休) 千葉スキー祭典 志賀高原
2月21日(土) テニス春季大会女S・シニア370チーム対抗男子
天台A・B
2月23日(月休) テニスシニア350チーム対抗女子 天台A・B
ミツバレーボール新春大会 (花島公園体育館)
2月24日(火) ウォーキング例会

2月 4日(水) 四役会議
2月19日(木) 常任理事会

トランプ大統領にFIFA「平和賞」?

国際サッカー連盟 (FIFA) が新設した「平和賞」をトランプ大統領に授与したことに對して人権団体「フェア・スクエア」がFIFA倫理委員会に政治的中立義務に違反したとして異議申し立てを行ったとの報道に「我が意を得たり!」と思わず拍手!

同賞は「平和と団結の為に優れた活動を示した個人の功績を表彰」するために2025年に創設された制度。授賞理由はトランプ大統領が関与したこの間の外交努力が評価されたものとされているが、同大統領の言動を見ると納得がいかないのは筆者一人ではないだろうと思います。例えば、イスラエルのガザ地区へのジェノサイドには口をつぐみ、イラン核施設への先制攻撃の正当化、ロシアによるウクライナへの侵略についてはあろうことか侵略した側のロシア寄りの発言を繰り返す、麻薬密輸でベネズエラへの無差別攻撃などなど、どれをとっても「平和賞」とは程遠い言動です。

その背後には今年 (2026年) 開催されるFIFAワールドカップ大会が3国 (アメリカ・メキシコ・カナダ) となりますが、外国人選手のアメリカ入国に厳しい対応をするアメリカにおもねる態度と取られても仕方がないともいえます。そして「平和賞」がらみで思い浮かぶにはトランプ大統領が訪日した際に高市早苗首相が「ノーベル平和賞に推薦する用意がある」との言動。同大統領の実績?を見ると「どこがノーベル平和賞に該当するのか?」誰しも首をかしげることばかり。アメリカべつたりの姿勢に怒り心頭の方もいたのでは?

スポーツに政治は持ち込まないといいますが、こと平和に関してはスポーツに携わるものとしては「異議あり」と思う事には大いに発言すべきではないかと思いますが読者諸兄はどのようにお考えでしょうか?

